

銀漢亭日録



伊藤伊那男

8月5日(日)

▼午前中、整体。痛い！午後、中野サンプラザ「春耕同人句会」あと居酒屋にて親睦会。そのあと大和さんと吉祥寺で少々飲む。

6日(月)

▼山形の菅原庄山子さんよりだだ茶豆到来。発行所は「かささぎ」、種田山頭火と。終って八人店へ。武田夫妻は伯母上の不幸で急遽愛媛へ。帰宅すると女子サッカー準決勝戦……見てしまふ。勝つ！

7日(火)

▼「火の会」朝比古、二平、うさぎ、大和、阪西、卓田、代田、詩乃、敬雄、遠藤、小石、峯尾……。オリックス時代の佐藤さん三人。内、高坂小太郎さんは五年前から俳句をはじめて「港」新人賞を取ったと。

8日(水)

▼角川平成俳壇の選……。これだけは仕上げないと沖繩へ行けない。発行所「梶の葉句会」選に上る。店、清人さんの「鮪を食べる会」十一人など。

9日(木)

▼平成俳壇選句仕上げる。店、「銀漢女子句会」……いづみ、淳子、操「銀漢」、うさぎ、くろえ「雷魚」、敦子、史子「ホトギス」、恭子、玲奈「天為」、由紀子「未来図」、近恵「災環」など。酒器など持ち寄り、句会三回。広渡敬雄さん高校の剣道部仲間で四人。

10日(金)

▼九時半から家の掃除に入ってもらう。のらは医院へ健康診断の結果聞きに行く。血糖値がギリギリの範囲内だがおおむねOKと。客少なし……。平成俳壇の小生選の佳作であったという山尾さん、信州出身の稲葉さんと。

11日(土)

▼十時、運営委員会。十三時、ひまわり館にて「銀漢本部句会」五十人。あと「庄屋」にて親睦会十六人。そのあと店に寄り、夏休前の最終点検。

12日(日)

▼十時半、羽田発ANA沖繩便搭乗。那覇空港に娘一家迎えに来てくれて第二牧志公設市場の二階、会員の徳永和美

13日(月)

さん紹介の「がんじゅう堂」へ。夜光貝、伊勢海老、青ぶだい他、刺身、島らつきよ、アグー豚、石垣牛などなどで酒盛り。夕方、娘一家の借りている北谷のリゾートマンション。今日は宜野湾の花火が対岸に見えるという。東京の花火は二十一時には終るが沖繩は二十二時過からおもむろに始まる。海に映えて美しい。こは十六階。

14日(火)

▼六時、二十五分、マンション横の広場でラジオ体操。朝食でスクランブルエッグ、冬瓜汁などの作り方を莉子、華子に教える。今帰仁城跡へ。莉子の自由研究を世界遺産の城跡にするというので。十時前、古宇利島トケイバマにビーチパラソルを広げる。その浜の、軒だけの海の家が実はいい！さざえ壺焼、島たこのうまいこと。夫人は佐渡ヶ島出身。絶対戻らないと言う。夫君と東京で結婚したが結局、古宇利島へ戻ったと。秋篠宮がこの島の御嶽ビジルヌメを訪ねたことを聞くと、実はこの夫人が当時、島の区長で案内したと！トケイバマは渡海浜のこと。ここには人類誕生の地という伝説あり。夜、アグー豚のシヤブシヤブなどで酒盛り。

15日(水)

▼六時半、ラジオ体操。今日も快晴。九時過から二階ロビーで選句などに入る。孫たちも来て勉強。十二時過まで。あと、読谷方面へ。目指す沖繩そば店が休みだったので読谷漁港の「いゆの店」。海鮮丼、いか墨汁、イカ、魚、もずくの天ぷらうまい。ただしアルコール類が置いてないのが難点。あと、座喜味城跡を歩く。

16日(木)

▼ラジオ体操。八時発、勝連城跡見学。十時過、海中道路で

24日(金)

▼発行所九月号の発送作業。武田編集長また足を挫く。治りかけていたのに下駄で自転車に乗って……と。「金星句会」あと六人。

25日(土)

▼「銀漢」十月号用エッセイ。あと「ソーサージ機」にうたた寝。十四時、日本橋「与志喜」で「纏句会」。あとカウンターにて蛸と芋煮、松茸と鰻の土瓶蒸。兼題の秋刀魚の塩焼。あと握り。渋谷「福ちゃん」にちよつと寄り。寝過して久我山。うつかり急行に乗って永福町へ戻りとなかなか家に帰れない。

27日(月)

▼「春耕四十五周年記念賞」の選考に入る。応募八十三編。「湯島句会」出句百一名。店に来たのは四十四人。「月の匣」の水内慶太さん、「春耕」の菅原庄山子さんから、山形のだだちや豆到来。大住光男君、松茸届けてくれる。池内けい吾さんから愛媛のおどう到来。終って洋酔、展枝、小石、真二、洋、うさぎさん達のいる洋酒バーへ合流す。

28日(火)

▼ひまわり館「萩句会」。選句に行く。店閑散。二十時半、閉めて角の餃子屋。健彦、てる緒、いづみ、悦子と二十三時半まで。俳句の話。なかなか有意義。

29日(水)

▼「炎環」の柏柳明子さんが現代俳句協会新人賞を受賞。その祝賀会。三輪初子さん幹事で三十二名、石栗太主宰も来店。「炎環」熱気あり。若手も多し。途中、今年の「角川賞」、広渡敬雄氏受賞の模様と連絡あり、本人にメール確認すると「受賞！」と。広渡氏は「沖」「青垣」同人。店の句会「火の会」のメンバー。嬉しー！「九月目の正直」と。店閉めたあと、いづみ、展枝さんと餃子屋。

30日(木)

▼仙台在住の小野寺清人さんの兄上来店とて気仙沼でお世話になった句仲間二十七人程集まる。清人さん鮪の刺身、焼そば。カウンター「難句会」。

18日(土)

▼昨日、中村家の売店で『おきなわルーッ紀行』聖書で紐解く沖繩ユダヤ紀行)購入。日本ユダヤ同祖論で、沖繩の祭と習俗が全てユダヤ教、キリスト教に重なるという。ついでに読み耽る。十時、また古宇利島。今回は大橋の横にパラソルを開く。一回だけ海に入る。十五時過ぎに上り、今帰仁の今泊集落(フクギ並木の街路が残っている)を見る。名護の焼肉店「我那覇」にて夕食。二十二時過寝る。

17日(金)

▼ラジオ体操、八時過から階談話室に移り、選句その他。昼から重要文化財の中村家、中城城跡へ。十八時半「ライカフェ、シヤンパンで乾杯。イタリア料理。

22日(水)

▼十月号同人評書く。十三時半、表参道。会員、本庄康代さん企画の若手芸術家集団「シャトラ」の定期公演。今回、同人・中村孝哲さん翻案の「雨月物語」も。店、宮澤と伊勢神宮宮司河合さん。「三水会」五人。「はてな句会」五人。洋酔のりを、真砂年さんなど。

23日(木)

▼午後店に皆川丈人さん、盤水先生の『俳句の上達法』十五冊、句集『高幡』四冊届けてくれる。有難し。こゝ数回、ひよこり見える客、トレビン、Tシャツ姿で関西訛、何やら凄味